

プレゼントとメッセージ

ママからのハガキ

▼生徒の声▼

「ちびっ子大集合」の事前学習で「自分が今いるのは親がいて祖先がいて自分の命には何億人もの人が関わっているから、命を雑に扱ってはいけない」と言われたことが心に残っています。

「成長プロセス」で実際の姿を見て、6か月から2歳の間だけでも人はすごく成長することがわかった。その時期の行動やできることなど聞いて、自分たちだけでは知らなかったことも知ることができた。

今日出会ったちびっ子たちがどんな中学生になるのか楽しみです。改めて親に「生んでくれてありがとう」と言いたい気持ちになりました。

▼ママからの声▼

お母さん方は「子育ては大変だけど、寝顔を見ている時は幸せを感じる」と言われました。久しぶりに小さかった頃の写真やビデオを見てみたくなりました。

先日とはとても真剣に話を聞いてくれて嬉しく思いました。子育ては気力、体力、時間が必要な大変な仕事ですが、我が子のためなら頑張れます。皆さんもたまには親を頼ってください。親は頼ってもらえると嬉しいものです。

合唱に圧倒されました。感動して涙が出そうになりました。一生懸命練習されたのだと思うと思います。残りの中学校生活、健康に気を付けて頑張ってくださいね！応援しています。

今年初めて参加しました。中学校に行くことも初めてだったのでワクワクしている我が子の一面を見られて新鮮でした。プレゼントもありがとう。車など工夫されていてかわいくて気に入っています。

頂いたプレゼントのパンダを使って「お母さんがいない。探しに行こう」「お母さんがいた。ここに」と言いながら遊んでいます。クローバーやちょうちん、雨や水たまり、切り株のデザイン等、どれもとても素敵です。

おわりに

コロナ禍の中、昨年は「ちびっ子大集合」を中止せざるを得なくなりました。ちびっ子たちに会えるのを楽しみにプレゼントを作っていた3年生たちの気持ちを大切に思われた先生方と一緒に、スタッフ一同試行錯誤しながらコロナ禍での実施を模索しました。無事実施できたこと、生徒たちの学びが深かったことは、この状況下参加して下さったちびっ子と保護者の方々のおかげと感謝いたしております。

嘉川子育て支援連絡組織「みらい」代表 山本 恵子

スタッフ(参加人数のべ56人)

※嘉川子育て支援連絡組織「みらい」

- ・山口市母子保健推進協議会嘉川
- ・山口市嘉川地区民生委員児童委員協議会
- ・嘉川幼児学級(のびのび広場)
- ・しゅっぱぽぽスタッフ「にっこにこ」

※佐山子育て支援組織

- ・山口市母子保健推進協議会佐山
- ・山口市佐山地区民生委員児童委員協議会
- ・読み聞かせ「おはなし広場」
- ・きずな世話人会(嘉川・佐山)

お問い合わせ

嘉川子育て支援連絡組織「みらい」
山口市嘉川4651-1
嘉川地域交流センター内「しゅっぱぽぽ」
☎083-989-6233

いのちの学習・赤ちゃんふれあい体験

【2021年10、11月】

第19回 川西ちびっ子大集合

～山口市立川西中学校3年生総合的な学習の時間の時間の一環として～

対象

- ・山口市立川西中学校3年生全員
- ・川西地区(嘉川・佐山)在住の未就園児とその保護者(会場:山口市立川西中学校体育館)

R3年 10/27(木)「楽しく手遊び」

参加者

- ・3年1組:32人
- ・ちびっ子:13人/保護者:14人
- ・スタッフ:27人/教職員:7人

R3年 11/2(火)「つくって遊ぼう」

参加者

- ・3年2組:31人
- ・ちびっ子:17人/保護者:15人
- ・スタッフ:31人/教職員:6人

目的

【中学生のみなさん】

- ・乳幼児とふれあうことで、生命(いのち)の尊さと輝きを感じましょう!
- ・子育て中のお母さんたちとふれあうことで、両親への感謝の思いをふり返りましょう!
- ・地域スタッフとふれあうことで、地域の中で見守られ育まれていることを受け止めましょう!

【ちびっ子の保護者のみなさん】

- ・わが子の将来に夢をつなげましょう!
- ・中学生とふれあうことで、若い世代のエネルギーをもらいましょう!
- ・幅広い地域との結びつきを知り、新たな安心感に気付きましょう!

- 主催 嘉川子育て支援連絡組織「みらい」
共催 山口市立川西中学校
佐山子育て支援組織
協力 山口市健康増進課(小郡保健福祉センター)

- 後援 山口市嘉川地域交流センター
嘉川自治連合会
嘉川地区社会福祉協議会
山口市こども未来課(思春期子育て体験事業)
山口市教育委員会社会教育課(路傍塾)

校長先生からのメッセージ

中学生に必ず経験してほしいことがいくつかあります。幼児とのふれあい体験「川西ちびっ子大集合」は、その一つです。

少子化が続く今日、日頃から幼児とふれあう時間を持つことのできる中学生はほとんどいません。それぞれが大切に育てられたことは、家族や親戚の方から話を聞いたことはあるかもしれませんが、しかし、実際に子どもを抱っこしたり、一緒に遊んだりする経験をすることで、「子どもを大切に育てるとはどんなことなのか」とか「自分は子どもにどう接するべきなのか」などを感じ取ることができます。これが中学生にとってとても大事なことだと思っています。

今年は、昨年できなかった「川西ちびっ子大集合」を必ず実施したいと思い、「みらい」の方々と調整を重ね、何とか実現にこぎ着けました。ご協力いただきましたちびっ子と保護者の皆様、「みらい」の皆様に感謝申し上げますとともに、今後も生徒たちを育てるためにこの活動が続くことを願っています。

山口市立川西中学校 校長 厚東 政人



「いのちの学習」の願い

いのちの学習「川西ちびっ子大集合」は、川西中の悲しい出来事から始まりました。乳幼児との触れ合いを通して、自分の命の存在の意味に気付くきっかけとなることを願っています。また、私たちの命は家族・学校・地域など多くの人の愛情ある育みのおかげであり、多くの命のバトンを受け継いだ大切な命です。この学習がこれからの困難を乗り越えていく心の支えの一つとなることを願っています。

あなたも次の命へバトンを渡してください。

(しゅっぱつぽ代表 高井 邦子)



「ちびっ子大集合」から学んだこと

生徒たちが心待ちにしていた「ちびっ子大集合」が開催されました。活動当日は、スタッフや保護者の方の声かけのおかげで生徒の緊張はほぐれ、優しい笑顔で幼児に接することができ、有意義な時間を過ごさせていただきました。

この体験活動を通して、幼児の愛おしさを再認識したようです。また、子育ての大変さや楽しさを直接保護者の方から聞くことで、自分の家族がどんな思いで育ててくれたかを重ね合わせて考える時間になりました。

生徒たちが大人になった時、今度は「命の重み」を伝える立場でこの行事に再び参加してくれることを願っています。

(家庭科教諭 藤田 真寿美)

「質問タイム」での生徒からの質問

- ♥ 子育てする上で、何が一番大変ですか？
- ♥ 育児する上で、一番嬉しいこと・幸せを感じる時は？
- ♥ 泣き出した時の対処法は？
- ♥ どうしたら赤ちゃんの気持ちがわかりますか？
- ♥ 名前の由来について教えてください。

中学生感謝のことは

今回のふれあい体験は、私の赤ちゃんへの概念を変えました。私はもともと乳幼児と触れ合う機会がそんなに無かったことからあまり赤ちゃんは好きではありませんでした。しかし、今回のふれあい体験で赤ちゃんの魅力に引き付けられました。なんでもっと早く気付かなかったのか後悔するくらい触れ合うのは楽しかったし癒されました。昔は私もあんなにかわいかったのかなあとも思いました。それと同時に育ててくれた親の大変さがよく理解できました。お母さんたちの、質問に対する答えからやはり子育ては大変だということを知りました。けれど、その反面「嬉しかった」「生んでよかった」などの声を聴いて子供を愛しておられるのだなあと感じ、私も嬉しくなりました。今の時期、マスクをつけてあまり近くで触れ合うことはできなかったけれど、来てくださった赤ちゃんと保護者の皆さん、それにスタッフの皆さんに大声でお礼を言いたいほどです。今回のふれあい体験で「自分が今生きていることの貴重さ」がよくわかりました。この経験を生かしてこれから生活していきたいです。

(3年2組 近木 愛輝羽)

受付



ふれ合いタイム



成長プロセス紹介



歌のプレゼント



手作りおもちゃプレゼント



質問タイム



ちょっとひとコマ



お見送り



「ちびっ子大集合」に参加して

この度は私たち家族一同貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

お兄さんお姉さんと触れ合える機会がほとんどないので、もうすぐ1歳になる娘の柁衣もとても楽しそうでした。好奇心旺盛な時期で、合唱を目の前に行き夢中で聞き入る娘の姿を見ることができ、「ちびっ子大集合」に参加してよかったと思いました。娘の新しい一面を見ることができて嬉しかったです。

今回は卒業生だった我が家のパパも参加させていただきました。パパも中学生のころ「ちびっ子大集合」で赤ちゃんに触れ合ったそうです。「年齢で考えるとその時の赤ちゃんが、もしかしたら今回遊んでくれた皆さんかもしれないね」と話していました。(笑)

私たちが今回良い経験ができたように中学生の皆さんにとっても良い経験になっているといいなと思っています。本当にありがとうございました。

パパも参加の本間さん

